

教育と子育て支援を中心に、家庭と仕事の両立を支援しながら、さまざまな分野へ施策を広げること、最大限の効果を目指す点が本市独自の特色

問 「はたらく親を応援するまちは、どの点が本市独自のテーマなのですか。」

本市の基本理念である『健康で明るく豊かなまち』の実現と、重要施策のテーマに掲げる『はたらく親を応援するまち』の推進を通して、『選ばれたまち』を目指し、市長として職員と共に全力で取り組みます。

問 市長として、市民の皆さまとお約束できるミッション・ビジョン・バリューは何ですか。

令和7年度市長施政方針

志民ネット
中村和也





まちの分断解消と交通渋滞緩和のため、可能な限り長い区間で高架化を実施し、生活の利便性向上と東西交通の円滑化を図るものです。

問 名鉄河和線の高架化について、どのように考えていますか。

まちの分断解消と交通渋滞緩和のため、可能な限り長い区間で高架化を実施し、生活の利便性向上と東西交通の円滑化を図るものです。

「コンパクトプラスネットワーク」の考えのもと、エリア価値を高め税収を確保し、市内全域へ再投資します。「はんだに暮らしたくなる、関わりたくなる、働きたくなるまち」を目指します。これにより、行政サービスの維持や住みやすい環境を整え、ウオーカブルなまちづくりを進め、訪れる人にとっても楽しく居心地のよい場を創出します。

問 中心市街地が活性化はした具体的な未来像は何ですか。

徴であると考えています。

市長として、女性の採用や組織作りについて、変革の意思をもって果敢に取組む企業があることを誇りに思います。先進企業の取組みが市内に拡がり、女性がより一層活躍できる社会が実現できるように推進していきます。

問 民間企業の女性の活躍について市長の見解を伺います。

国や愛知県の補助金などは各事業課で予算計上し、地方創生臨時交付金など市全体の調整を必要とする補助金は予算編成方針に沿って最終的には市長査定で意思決定していきます。

問 財源確保に対しての組織の意思決定の仕組みはどうなっていますか。

創造みらい半田
芳金秀展





産業振興ビジョンマップ

市長として、本市を「日本一の発酵のまち」にするためのブランディングを進めることを決めると共に、「道の駅整備」や「次世代モビリティ」など、産業基盤づくりに向けた新たな方策を検討する指示をしました。また、産業基盤の将来方向や産業振興ビジョンマップの作成及び各種計画への反映については、産業・振興計画の改訂を前倒して実施し、その改訂作業のなかで、具体的な取組みを示していきます。

問 産業振興会議の提言を受け、どのような方針で推進していくことを決めましたか。

市長として、本市を「日本一の発酵のまち」にするためのブランディングを進めることを決めると共に、「道の駅整備」や「次世代モビリティ」など、産業基盤づくりに向けた新たな方策を検討する指示をしました。また、産業基盤の将来方向や産業振興ビジョンマップの作成及び各種計画への反映については、産業・振興計画の改訂を前倒して実施し、その改訂作業のなかで、具体的な取組みを示していきます。

半田病院の「がん相談

問 アピアランスケアの選択肢のひとつとして、エピテーゼを紹介することはありますか。

HP等で市民の皆様幅広く事業の周知を行いました。加えて、事業初年度の令和4年度は、市報へ掲載するほか、半田病院の「がん相談支援センター」を始め、市内外の医療機関やアピアランスケア用品の販売店等への周知に努め、対象者への案内を円滑に行えるようにしました。

問 アピアランスケア用品購入費用の補助について、支援を必要とするがん患者の方へ、どのように広報しましたか。

アピアランスケア支援事業にエピテーゼの拡充を

坂井美穂
(公明党)





エピテーゼ

アピアランス支援事業について、がん患者の方の日常生活に支障がでないよう、また自分らしく希望を持って生活できるよう、しっかりと取組んでいきます。

問 アピアランスケアの重要性について、半田市の所見を伺います。

愛知県の方針を注視し、前向きに検討していきます。

問 愛知県が、頭頸部のエピテーゼなど、補助内容の充実について検討することを表明する中で、半田市でもエピテーゼを補助対象に追加する考えはありますか。

支援センター」では、乳房切除術を受けた患者に対し、人工乳房などのエピテーゼを紹介しています。